

学校だより

みんなの森合小

~ 自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力 ~

No. 5

令和5年6月8日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

個別懇談会リニューアル 保護者主体の個別懇談会

～学校が、子供の様子を伝えるのではなく、保護者の思いを聴く日～

第1回個別懇談会が始まります。お忙しい中、時間を調整してくださる保護者の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。今回の個別懇談会ですが、今までのような個別懇談会ではなく、リニューアルいたします。4月の学校運営説明で、次のように、お伝えしました。

[保護者主体の個別懇談会]

先生が子供の様子を伝えるのではなく、保護者の思いを聴く日



「〇〇ができます」と先生が伝えることが多かったのですが、保護者の皆さんに語っていただく時

間としました。対話・コミュニケーションを大事にする学校ですので、子供や教育について語り合います。

今まで、子供の学校での学習の様子、成績、生活の様子、友達との関係など、学校が一方的に保護者に伝えていました。「学校で〇〇ですので、お家でも、〇〇してください。」というような学校からのお願いが多くなってしまいます。保護者の皆さんも、学校の様子を聴きたいと思いが強いと考えますが、森合小学校は、子たちを決めつけるのではなく、子どもたちの背景や可能性を理解することで、日々の教育を進めていきたいと考えています。せっかく来ていただく個別懇談会ですので、保護者の皆さんに大切に育てている「お子さんについての思い」をじっくり伺いたいのです。その思いは、現在の思いだけでなく、入学当初、誕生の時まで遡ったり、未来のことを見越したりと、お互いオープンに、自然に話すことで、理解を深めていきたいのです。

私たちは、子供たちの育ちの過程に、関わる伴走者です。今までのように、評価する、される関係ではこれまでの学校教育は成り立たないと考えています。また、「解のない時代」ですので、学校がいつも正しいわけではありません。対話を通して、一緒に悩み、方向性を見付けていくことが大切になります。そのため、個別懇談会は、リニューアルします。保護者の皆さん、たくさん話をしてください。私たちは、聴きます。対話・コミュニケーションを大切にする学校に進化していきます。



SOS {助けて} と言う！ ~相談する・話をする~

6月の全校集会「校長の話」で、困ったときに、「SOSを出そう」「助けてと言おう」と、全校生に伝えました。森合小学校には、「相手が、いやなことはしない・言わない」という約束があります。みんなで、大切な約束を胸に生活していますが、時々、相手を傷つけてしまう行動があります。その時にどうするのか・・・そこで、「SOSを出す」「助けてと言う」など「相談する・話をする力」を發揮する必要があります。我慢したり、自分たちだけで解決したりするのではなく、人を頼ることの大切さを力説しました。そのために、私たちは、いつでもたっぷり話を聞く姿を子供たちに見せてていきます。安心して「話ができる先生」を目指していきます。

